

よらおかね 小合

2025.12.15 第93号

発行者
小合地域コミュニティ協議会
(コミュニティセンター内)
☎0250-25-2299
発行人/井浦博男
編集/広報文化部

地域の人口動態
令和7年11月末現在
世帯数 1,308 世帯
男 1,711 人
女 1,758 人
人口 3,469 人

こあい ハロウィンフェス 開催



かぼちゃのランタン、ハロウィンバルーン、蝙蝠、蜘蛛の巣の切り絵等々準備の大変さを感じさせるおびたしい数のデコレーションの中 10/19(日)こあいミラメンバーの企画によりハロウィンフェスが開催されました。秋葉区のイメージキャラクターであるさつきちゃん、ゆうたくんも応援に駆け付け盛り上げてくれました。「トリック・オア・トリート」お菓子をもらっている子もいます。小合地域を題材にしたクイズラリー、お化け屋敷、太木の輪切り大会等を楽しみました。キッチンカーも用意され、外で軽食をとった後、最後のメインイベントは仮装大会です。各賞には地元の花木もプレゼントされました。地域の住民を巻き込み、大人も子供も大満足の素敵な一日を過ごすことができました。

自主防災訓練

R7.10.26



段ボールベッド作り



AED装着訓練



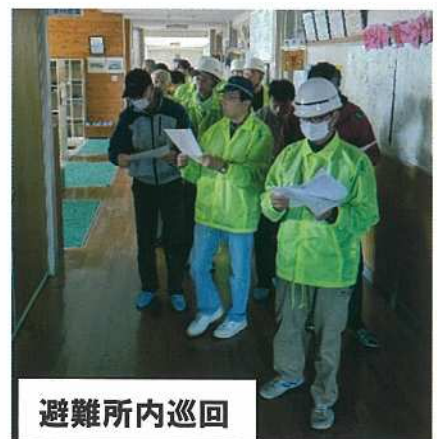
ガスボンベで発電



間仕切りテント作り



起震車体験



避難所内巡回

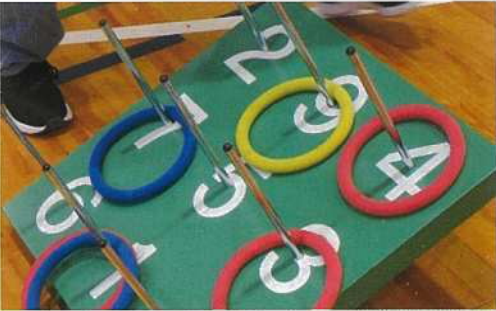
今年は3つある第二避難所の現地対策本部(担当自治会・町内会)が自主的に訓練内容を計画し、何度も打合わせを重ね、運営もそれぞれの本部に一任した形で避難訓練が実施されました。概ね順調に訓練は実施されましたが、当日は、かなり激しい雨模様だった為中学校で実施された起震車体験は、各小学校からの移動が難しく断念する方もいらっしゃいました。反省点として、「集合時間、移動時間に余裕がありすぎ、時間を持て余した」「小中学生の参加が少なかった」という声が聞かれました。災害の準備には限度などありません。いつどの様な災害が発生しても対応しうる更なる工夫がもっと必要かと思われまます。

「芸術祭」

R7.11.23



今年は新たに思わず頬が緩んでしまう小合西保育園の子ども達の力作やお抹茶席の場を設けました。それに加え、小合書道教室作品、手芸品、鉛筆画、切り絵、俳句やサロンの皆さんの塗り絵、版画絵、折り紙等の作品 地域内3つの老健施設の心が温まる作品。101歳の方の出品もありました。中学生の体育祭パネル、野菜販売、「合唱祭」の上映、東小のチョークアート、小合小のハーバリウム、東小ふれあいスクールの出品もあり、様々な年代の作品、催しが並びました。会場内には、みらビカフェを開設しコーヒーの香りの中で吉田千秋について知識を深めることができました。来年も「芸術祭」を計画しています。今から出品作品の構想を練ってみるのも…。地域の皆様からの作品を楽しみにしています。



輪投げ大会

R7.11.24



優勝 浦興野チーム

今年も賑やかな歓声が小合中学校体育館に響きました

- 優勝 浦興野チーム
- 準優勝 大秋チーム
- 第3位 小戸下組チーム
- 個人最高得点 小戸下組 吉田東一さん

おめでとうございます

シリーズ

ふるさと小合のあれこれ

曹洞宗管長・大本山総持寺九世貫主

伊藤道海 禅師



この褒章に監院石川素童禅師が能登の寺を与えようとしたが、これを辞して向学心から大学林入学を願い出て、本山選拔生として曹洞宗大学林(現 駒澤大学)で学ぶ。

明治44年(一九一一年)37歳の時

総持寺が石川県能登から横浜市鶴見へ移り再建することになる。

伽藍造営工事の大事業に初代副寺(会計の役僧)として10年間活躍し、

大本山の重要建物の建立に尽力した。大正14年(一九二五年)鶴見高等女学校

を開設、又、夜学校、託児所、病院などの社会福祉事業にも力を入れ大きな貢献をした。

昭和10年(一九三五)曹洞宗管長大本山総持寺九世貫主となる。

明治7年(一八七四)中蒲原郡子成場村伊藤権作の三男として誕生、幼少のころ、近所の洞泉寺へ預けられ、その後金津古津広大寺へ預けられる。明治26年(一八九三)総持寺へ向かいここで修行を許される。

24歳の時総持寺本山が全焼、知庫(物資・重宝を預かる係り)の役職についていた道海は、猛火の中に飛び込み宝物や重要文書を運び出して抜群の功績をあげた。

